

支出命令書



決裁日 28年 9月 12日

市長 ****	副市長 ****	教育長 ****	部長 ****	次長 ****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 ****	係長 ****	担当者 	入力 	財政課合議 ****		

所 属	市議会事務局		起票日	平成28年9月12日	整理番号	2275-9	
年 度	平成28年度	会 計	一般会計			予算区分	現年度予算
款	1	議 会 費			確 認 事 項	確 認	
項	1	議 会 費			タイムカード(出勤簿)		
目	1	議 会 費			源 泉 徴 収		
細目	4	議会調査研究事業			被服貸与台帳記載		
節	19	負担金、補助及び交付金			通勤経路及び金額		
細節	45	政務活動費					
金 額	¥1,516				検収者	印	
控除額					支払方法	通常支払	
債 権 者	登録No. 99999				支払区分	窓口払い 1.現金 2.小切手	
	住 所				金融機関		
	名 称 市民クラブ代表者 丸谷 正八郎				支 店		
	職氏名				預金種別		
					口座番号		
					伺 残 額	¥717,700	
摘 要	広報広聴費				支払予定日	平成28年9月28日	
	議会傍聴よびかけ隊チラシ(9月分)製作料				支払明細 整理番号	001	
	分担金				請求書番号		

上記の金額を領収しました。
平成28年9月28日

泉大津市会計管理者 様

住所

名称

氏名 市民クラブ代表者 丸谷 正八郎

収入印紙



支出負担行為確認



支 払 済











2016000227501098

泉大津市



28.9.12


供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

平成28年9月12日

泉大津市長
伊藤晴彦様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 市民クラブ
代表者名 丸谷正八郎 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	1,516円		
内 訳	議会傍聴よびかけ隊平成28年9月購入分チラシ製作料分担金		
支 払 先	(株) キングプリンターズ		
予 算 科 目	広報広聴費	交付残額	717,700円
使 用 者 名	市民クラブ		

議会傍聴よびかけ隊
平成28年9月購入分チラシ製作経費分担計算書

株式会社キングプリンターズ 大阪府大阪市西淀川区千船2-10-21	
A4チラシ 3,000枚	8,586円(消費税込)①

① ÷ 議員数	8,586 円	÷	17 人	=	505.0588 円②
---------	---------	---	------	---	-------------

【分担額】

日本共産党 ② × 2人 =	1,010 円
市民トライネット ② × 2人 =	1,010 円
公明党 ② × 3人 =	1,515 円
おづ ② × 3人 =	1,515 円
市民クラブ ② × 3人 + 端数1円 =	1,516 円
立志会 ② × 2人 =	1,010 円
井阪 正信 ② × 1人 =	505 円
草刈 与志子 ② × 1人 =	505 円
合計	8,586 円

領収書

領 収 証

No. A 14837

泉大津市議会 様

平成28年9月5日

金額	百	千	円
		9	8586

チラシ製作 3,000部

注文番号: N-0093-9223

上記の金額正に領収いたしました

現金	
小切手	
手形	
相殺	

KINGprinters

株式会社 キングプリンターズ

〒555-0013 大阪府大阪市西淀川区千船2-10-21

TEL:06-6195-2365 FAX:06-6195-2366

取扱者



皆さんの関心やお声は議会活性化の大きなチカラです。

泉大津市議会では、意見の違いを越えて、

議会と市民皆さんとの接点づくりを全議員で進めています。

議会は意外とおもしろい

議会では、さまざまな提案があります。

対立することもあれば、意見が一致することもあります。

そうやって、まちの今と未来が創られています。

一度議会を覗いてみてください。そして、声を届けてください。

市議会は、どなたでも傍聴することができます。
傍聴を希望される方は、市役所6階傍聴席までお越しください。(定員60名)

また、議会開会中は、市役所1階ロビーのテレビで市議会の模様を放送しています。

インターネットによる議会中継の配信も実施中!! (生中継と録画放送)

ホームページのリニューアルも行いました。ぜひご覧になってください。



泉大津市議会

検索









クリック

泉大津市議会

議会傍聴よびかけ隊

支出命令書

決裁日 28年 9月 15日

市長 *****	副市長 *****	教育長 *****	部長 *****	次長 *****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 *****	係長 *****	担当者 	入力 	財政課合議 *****		

所 属	市議会事務局		起票日	平成28年9月15日	整理番号	2275-10
年 度	平成28年度	会 計	一般会計		予算区分	現年度予算
款	1	議 会 費			確 認 事 項	確 認
項	1	議 会 費			タイムカード(出勤簿)	
目	1	議 会 費			源 泉 徴 収	
細目	4	議会調査研究事業			被服貸与台帳記載	
節	19	負担金、補助及び交付金			通勤経路及び金額	
細節	45	政務活動費				
金 額	¥10,000			検収者 印		
控除額				支払方法	通常支払	
債 権 者	登録No. 99999			支払区分	窓口払い 1.現金 2.小切手	
	住 所			金融機関		
	名 称 市民クラブ代表者 丸谷 正八郎			支 店		
	職氏名			預金種別		
				口座番号		
				伺 残 額	¥707,700	
摘	研究研修費			支払予定日	平成28年9月30日	
要	10/6~10/7 第78回全国都市問題会議参加負			支払明細 整理番号	001	
	担金			請求書番号		

上記の金額を領収しました。
平成28年9月30日
年 月 日

泉大津市会計管理者 様

住所

名称

氏名 市民クラブ代表者 丸谷 正八郎

収入印紙

支出負担行為確認



支 払 済











2016000227501105

泉大津市



2016.10


供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

平成28年 9月 15日

泉大津市長
伊藤晴彦様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 市民クラブ
代表者名 丸谷正八郎 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	10,000円		
内 訳	10/6~10/7 岡山市 第78回全国都市問題会議参加負担金		
支払先	(株) JTB中国四国 岡山支店		
予算科目	研究研修費	交付残額	707,700円
使用者名	丸谷 正八郎		

第78回全国都市問題会議

請求書

申込No. R000014

泉大津市議会 丸谷正八郎 様

JTB中国四国 岡山支店
 岡山市北区表町1-7-36
 〒700-0822
 支店長 上田 英夫

R000015	(発行日) 2016/9/9					
財認第599号	(総費用/内訳)					
総費用	会議参加費	¥10,000	通信費	¥0	宿泊費	¥0
¥10,000	観光費	¥0	JR代	¥0	食事費	¥0
入金額	航空セット代	¥0	参加取消料	¥0	宿泊取消料	¥0
¥0	観光取消料	¥0	JR取消料	¥0	食事取消料	¥0
ご請求金額					セット取消料	¥0
¥10,000	下記の口座に9月30日までに振込み下さいますよう、お願い申し上げます。					

【振込銀行】 ██████████ ██████████
 【口座番号】 ██████████

【口座種別】 ██████████
 【口座名義】 ██████████

会議参加費領収書

丸谷 正八郎 様

金 10,000 円

但、「第78回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

平成28年10月6日









第78回全国都市問題会議実行委員会

会 長 大 森 雅 夫




支出命令書

決裁日 28年 9月 15日

市長 *****	副市長 *****	教育長 *****	部長 *****	次長 *****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 *****	係長 *****	担当者 	入力 	財政課合議 *****		




所属	市議会事務局	起票日	平成28年9月15日	整理番号	2275-11
年度	平成28年度	会計	一般会計	予算区分	現年度予算

款	1	議会費	確認事項	確認
項	1	議会費	タイムカード(出勤簿)	
目	1	議会費	源泉徴収	
細目	4	議会調査研究事業	被服貸与台帳記載	
節	19	負担金、補助及び交付金	通勤経路及び金額	
細節	45	政務活動費		

金額	¥54,400	検収者	
----	---------	-----	--









控除額		支払方法	通常支払
債権者	登録No. 99999	支払区分	窓口払い 1.現金 2.小切手
	住所	金融機関	
	名称 市民クラブ代表者 丸谷 正八郎	支店	
	職氏名	預金種別	
		口座番号	
		伺残額	¥653,300

摘要	旅費	支払予定日	平成28年10月4日
	10/5~10/7 第78回全国都市問題会議参加旅	支払明細整理番号	001
	費	請求書番号	

上記の金額を領収しました。 平成28年10月4日 泉大津市会計管理者 様	収入印紙 	支出負担行為確認 
住所		支払済
名称		
氏名 市民クラブ代表者 丸谷 正八郎 		

154108048 10:17:00 49 590 198-2 323,400 5




供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

平成28年 9月15日

泉大津市長
伊藤晴彦様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 市民クラブ
代表者名 丸谷正八郎 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	54,400円		
内 訳	10/5~10/7 岡山市 第78回全国都市問題会議参加旅費		
支払先	丸谷 正八郎		
予算科目	旅費	交付残額	653,300円
使用者名	丸谷 正八郎		

平成28年度

出張申請書

(出張)

会派名	市民クラブ	氏名	丸谷 正八郎					
出発・帰庁年月日	出発 28年10月5日	帰庁 28年10月7日						
出張先(順路)	岡山国際ホテル(岡山県岡山市中区門田本町4-1-16)							
目的及び用件	第78回全国都市問題会議に参加							
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線)	km	円	円	円	円	円	円	円
難波		440						440
" (地下鉄御堂筋線)								
新大阪		280						280
" (山陽新幹線)	180.9		特急料金 (のぞみ)					
岡山		3,020	3,210					6,230
" 岡山国際ホテル		岡山駅から研修会場、研修会場から岡山駅までは、主催者側が用意したバスを利用する。			2泊 30,000	3日 10,500		40,500
" 岡山								
" 復路			特急料金 (のぞみ)					
		3,740	3,210					6,950
							計	54,400

主管課用









平成28年度

領収書兼旅費明細書

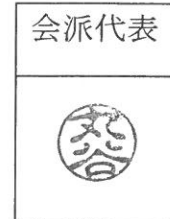
(出張)

会派名	市民クラブ	氏名	丸谷 正八郎					
出発・帰庁年月日	出発	28年10月5日	帰庁	28年10月7日				
出張先(順路)	岡山国際ホテル(岡山県岡山市中区門田本町4-1-16)							
目的及び用件	第78回全国都市問題会議に参加							
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 440	円	円	円	円	円	円 440
" (地下鉄御堂筋線) 新大阪		280						280
" (山陽新幹線) 岡山	180.9	3,020	特急料金 (のぞみ) 3,210					6,230
" 岡山国際ホテル 岡山		岡山駅から研修会場、研修会場から岡山駅までは、主催者側が用意したバスを利用する。			2泊 30,000	3日 10,500		40,500
" 復路		3,740	特急料金 (のぞみ) 3,210					6,950
							計	54,400
右の金額領収いたしました。				金額	¥ 54,400			
平成 年 月 日				職名	市民クラブ			
泉大津市会計管理者 殿				氏名	丸谷 正八郎			
								

□ 決 裁 ■ 供 覧

受 発 記 号 ・ 番 号				収 受 年 月 日	平成28年10月14日			
差 出 名		市民クラブ 丸谷 正八郎						
あ て 名		泉大津市議会議長				提 出 期 限		
収 受 文 書 の 記 号				収 受 文 書 の 日 付	平成28年10月11日			
件 名		報告書						
議 長		副 議 長		事 務 局 長		次 長		合
								
主 管	次 長 補 佐	議 事 調 査 係 長		庶 務 係 長		主 査		議
								
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項								
<p>日 時 : 平成28年10月6日 (木) ~ 10月7日 (金)</p> <p>出張先 : 岡山国際ホテル (岡山県岡山市)</p> <p>目 的 : 第78回全国都市問題会議に参加</p>								

報 告 書



平成 28 年 10 月 11 日

泉大津市議会議長 殿

(会派名) 市 民 クラブ

出張者氏名 丸谷 正八郎 

下記により出張致しましたので、その概要について報告いたします。

記

- 1、日 時 平成 28 年 10 月 6 日(木) ～ 7 日(金)
- 2、出 張 先 岡山県 岡山市
- 3、目 的 第 78 回「全国都市問題会議」

<会 場> 岡山市 岡山国際ホテル

- (主 催) 全国市長会、公益財団法人 後藤・安田記念東京都市研究所
公益財団法人 日本都市センター、岡山市
- (協 賛) 全国市長会館

<議題> 「人が集いめぐるまちづくり」

— 国内外にひらかれた都市の活力創出戦略 —

4、報告事項

(第1日目) 10月6日(金)

<基調講演>

まちの見方、見つけ方 ドイツ文学者エッセイスト 池内 紀 氏

- ① 過去を知る事。「過去に目をつぶる者は、現在も見えなくなる」
- ② 歴史を共同認識する(ドイツは近隣諸国と共に行なって来た)
- ③ 図書館を中心としたまちづくり(市役所とコンビニになっている)
- ④ 戦後の高度成長期に街並みが大きく変わった。
- ⑤ 伝統的街並みが変わったことは残念である。
- ⑥ 1990年代から伝統的街並みを残すようになった。
- ⑦ まちづくりの標語は、官が作ると難しい言葉となる(市民に分かりやすくする)
- ⑧ まちづくりの提案は、実物大のモデル空間を作り市民に体験してもらう

(所見)

ドイツを参考に講演をして頂きました。

伝統文化を活かし残すところは改修工事で街並みを保存していく。

図書館の有効活用は、人と人の交流を生み文化が継承できることが分かりました。

まちに行けばスーパーに行くとまちが分かる「地産食材」が並び、まちの姿が想像できる。

泉大津市にも伝統文化があるそれを活かしたまちづくりは、この「まち」で暮らす市民と行政の共同提案で実現できれば素晴らしいと感じました。

歴史を引き継ぎ、繋いでいける「まち」をつくりたいものです。

<主報告>

人口減少社会における都市の活力創出 岡山県岡山市長 大森 雅夫 氏

① 地域経済の活性化による、魅力と活力あふれるまちづくり

- ・ 産学官連携による新しい産業の育成
- ・ 地場産業の市場競争力強化
- ・ 広域産業基盤を活かした産業振興

特に、豊富な医療・介護資源を活かしたヘルスケア産業の振興に重点的に取り組む

また、多彩な農業の振興にも力を入れ地域経済の活力を生み出して行く。

② コンパクトでネットワーク化された快適で多様なまちづくり

- ・ 路面電車の岡山駅前広場へ乗り入れ及び JR 吉備線の LRT 化の検討
(交通アクセスの利便性の向上を図る)
- ・ 自転車先進都市おかやま
(平成25年7月からコミュニティサイクル「ももちやり」を導入した)
- ・ 歴史と文化が薫り、誇りと一体感の持てるまちづくり
(岡山城を中心としたエリアは歴史文化ゾーンである、後樂園との連携で集客アップ)
- ・ 平成27年11月第1回おかやまマラソンを開催
(都市の知名度向上及び参加者と沿道で応援する市民との一体感が得られた)

(所見)

交通アクセスの利便性を向上させることにより地域の人の流れが変わることは、既存の商店などが影響を受けることも今後の課題であると思う。

人の流れをコントロールするには、ハブとなる拠点をつくり各地域の特徴を活かして自然と人が足を運ぶ仕組みづくりが必要と感じました。

コミュニティサイクル「ももちやり」は有効と思うが、自転車を利用する地域が偏り自転車の適切な地域位置が今後の課題である。

岡山城という歴史遺産があるので歴史文化を中心にしたまちづくりは、効果があると思います。泉大津もコンパクトなまちである、地の利をもっと活かしたまちづくりを今後提案していきたい。

<一般報告>

人を惹き付ける都市空間とその文化力 法政大学デザイン工学部教授 陣内 秀信 氏

① 都市のあり方・思想の転換

- ・ 戦後のゼロから創り出した都市は魅力が無い(高度成長期古い物を壊し新しく創った)
- ・ 既存の都市(建物)の再評価(ボローニャの成功・歴史的中心に活気が戻る)

② ブェネツィア一周遅れのトップランナー

- ・ ブェネツィア的な価値(1980年代にまちづくりのキーワードになった)
- ・ 水上都市、迷宮都市、祝祭都市、劇場都市、五感の都市、エコシティ
- ・ 複合機能、人間的尺度(人が集い・人が繋がるまちづくり)

③ 歴史的空間の再評価

- ・ 地方の重要伝統的建造物が増え、カテゴリーも多様に(歴史・文化を活かしたまちづくり)

④ 異なる価値の共存・併存

- ・ 和と洋、動と静、表と裏、聖と俗(二重構造の都市、山の手と下町)ジョイント・コラボ

⑤ 南イタリア都市の近年の文化状況

- ・ 近代都市空間に飽き、荒廃していた旧市街地へ関心がシフト
- ・ 港周辺の旧市街地に都市再生の動き
- ・ 歴史的空間にはドラマ、舞台の楽しさ(隣地域からのリピーター、週末人が集まる)

- ⑥ 水辺空間の発見、再生
 - ・ 目黒川、お台場公園、品川、大阪・北浜テラス(日本の公共空間は歴史的に水辺に成立)
- ⑦ 野外空間の活用、舞台としての都市
 - ・ 野外コンサート、オープンカフェ
- ⑧ 凹凸地形の再評価、坂のあるまちの人気
 - ・ 1980年代ポストモダンの文化が浸透する
 - ・ 渋谷、神楽坂が個性的な魅力あるまちへ(港区・森ビルの開発凹凸を活かす)
- ⑨ 小さなスケールが連動する顔の見える街
 - ・ 地元派のマイナーなまちが人気(高円寺、大資本が入らない)
- ⑩ 田園の風景、地産地消の魅力
 - ・ 文化的景観、スローフード、スローシティ的価値観
- ⑪ 地域資産を活かした固有性の高いまち・地域づくり
 - ・ 自然資産+歴史文化資産+エノガストロミア(ワイン食文化の連動)

(所見)

戦後の高度成長期に、古い建築物(歴史的な物があった)を壊し新しく建替えた、その建物に対して人は利便性を感じていたが、経済が安定し成長期から安定期に移行するに当たり、人は「ゆとり・幸福度・楽しみ・人との交流・趣味」などライフワークが変化してきた。まちづくりも同様に変化していく必要がある、車社会からの脱却や歴史・文化・自然との遭遇をヒントに、これからのまちづくりを考えて行きたいと感じました。

<一般報告>

交流とにぎわいのまちづくり

奈良県橿原市長 森下 豊 氏

橿原市は昭和31年2月11日、奈良県で5番目の市として誕生いたしました。

市政誕生60年となります。この地域の歴史は古く、記紀には初代神武天皇が即位した地であると記されている。694年には、日本で初めての都城「藤原京」が造営され「日本」という国号を初めて国外に発信した場所でもある。

この日本の原点というべき橿原市を地域資源の活用と多様な主体との連携により、誰もが住みやすい賑わいのあるまちとして、発展させていきたいと考えている。

① 「奈良モデル」の推進

「奈良モデル」とは、奈良県と市町村の役割分担のあり方について、新たな協力体制や役割分担の方向性を示したものである。奈良県と市町村とがそれぞれ「まちづくりに関する連携協定」を締結し、相互に連携して事業を進める枠組みである。

① 大和八木駅周辺のまちづくり

近鉄大和八木駅南側の約1,100坪の市有地に、市庁舎と140室程度の客室を含む観光施設からなる複合施設の建設に着手しました。

② 医大周辺地区のまちづくり

医大が提唱する「医学を基礎とするまちづくり(MBT)」という独自の構想をベースに医学の視点を生かした新しいビジネスモデルや製品を生み出すことを目的とした「MBT コンソーシアム」という一般社団法人も立ち上がった。産業の振興や雇用の創出を図って行きたい。

③ 橿原神宮前駅周辺のまちづくり

平成 24 年度から「新沢千塚古墳群公園」の整備を進め、古墳群を中心とした区域を緑豊かな憩いの場とします。

平成 28 年 4 月 24 日には、市民健康づくりを目的とした「拠点施設」と地元産の農産物等を販売する「集客施設」の開館式を行なった。

これらの施設が地域住民の多世代間の交流の場として、また多くの方々の来訪して頂けるような観光拠点として育てて欲しいと願っています。

④ まとめ

今後はバスターミナルの整備を初めとする地域公共交通の再編も含め、多くの方々にお越し頂けるような環境整備にも力を入れたいと考えている。

(所見)

橿原市は、大阪府に近く古くからの歴史があり文化も継承されたところが多くある。

橿原神宮は、初代神武天皇が即位された所であり、地域に愛され守られてきた貴重な歴史財産である。これらを中心に観光のまちづくりが進められています。

奈良には、宿泊施設が少ないといわれていることから、近鉄大和八木駅南側に市役所庁舎と宿泊施設（ホテル）を備えた複合施設の建設を行なうが、どのような効果と成果が上げられるのか今後検証の必要があると感じました。

泉大津市では、南海本線高架化が完了し、高架下施設の開設や側道の整備が平成 29 年 3 月から夏ごろに完了する。この機に泉大津駅周辺に人が集い楽しめる空間づくりを考えた再整備を行なうのも良いと感じました。お金をかけず市民(地元住民)と駅利用者等のアンケート調査を行い皆が参加する地域空間づくりを実現したいものです。

<一般報告>

改革的サイバニックシステムによる社会改革・未来開拓への取り組み

筑波大学大学院システム情報工学研究科教授/サイバニクス研究センター長 山海 嘉之 氏

① 重介護ゼロ社会を実現する

先進長寿国では「重介護」が共通する深刻な社会問題になっている。

人の脳神経系、身体とロボットなどを融合複合して機能させる「改革的サイバニックシステム」によって、人の残存する能力を飛躍的に改善・拡張・補助し、人と革新技術の相互支援による生活支援インフラとして社会実装することで「人とロボットを繋ぐ革新的人支援技術」による新産業創出を推進し「重介護ゼロ社会」の実現、従来の消費型経済から社会

課題解決型経済へのパラダイムシフトの実現、社会変革・産業変革の実現を目指す。

② サイバニックデバイス(生活支援)

残存能力の飛躍的な拡張

③ サイバニックインタフェース

自立支援と健康改善支援

④ 革新的人支援産業の創出

ソーシャルビジネスによる経済サイクル（イノベーションのスパイラルアップ）

⑤ サイborg型ロボット「HAL」を製造する

「HAL」を身体に装着することによって身体機能の拡張・増幅・補助することができる世界初のサイborg型ロボットである。

(所見)

今後益々高齢化が進んでくる、これからも介護問題は重要な政治課題であります。

特に「重介護」は大きな社会問題となっている老々介護やダブル介護など抱える問題は多くある人の知能で装着した「HAL」サイborg型ロボットが始動し日常生活をサポートする、革新的な技術であると思います。今後は実証実験を繰り返し本当に人に寄り添い人体の一部になって作動できるようになれば、今後の介護社会に明るい兆しが見えてくるように感じました。

5、報告事項

(第2日目) 10月7日(金)

パネルディスカッション

<コーディネーター>

東京大学大学院工学系研究科教授

西村 幸夫 氏

<パネリスト>

中央大学法学部教授

工藤 裕子 氏

一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス代表理事

木下 斉 氏

株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブ代表取締役

木村 正明 氏

茨城県ひたちなか市長

本間 源基 氏

三重県鈴鹿市長

末松 則子 氏

テーマ「人が集いめぐるまちづくり」

1) アート・イベントがもたらす地域への効果と課題 (工藤 裕子氏)

2) 都市間競争時代に求められる「嫁ぐ都市づくり」 (木下 斉 氏)

3) 後発組の挑戦 -子どもたちに夢を!- (木村 正明 氏)

4) 職住近接のまちづくりと交流の促進による地域の活力の創出 (本間 源基 氏)

5) 「みんなで創り育み成長し、みんなに愛され選ばれるまち」を目指して (末松 則子 氏)

(所見)

5名のパネリストの方々の、お話をお聞きました。様々な分野で地域の活性化に取り組み「人が集いめぐるまちづくり」を実践されています。

アート芸術のイベント開催による集客と観光へと繋ぐまちづくり、また「もらう自治から稼ぐ自治への転換」公共施設再編はチャンスである。地域に資金はある地域金融に貯まる資金を都市再編に活用するには民間活力を活かし「官・民」協同で事業を計画推進することが求められる。

スポーツを通じて交流の場を創り、異世代交流と「サッカークラブ(Jリーグ)フジアーノ岡山」の応援と支援で連帯感が生まれ地域の活性化を図れている。

地域の特徴を生かし港湾への企業誘致や、中小企業の活性化に対しては産学官連携の橋渡しを行い地域産業の活性化につなげていること等、各地域の特徴を活かした、事業展開に感心させられました。

鈴鹿市はF1日本グランプリ開催の地であり、全国から多くのひとが集まって来る。周辺の環境整備や交通網の整備によりリピーターの獲得に努めている。

また、子育て支援の充実による活力創造では、子育て世代が安心して交流できるまちづくりを進めている。「地域まちづくり協議会」自治会を中心として地域団体をネットワーク化している。

特に、木下 斉氏のお話は興味がありました、市有地や公共施設を民間の知恵と工夫で効果的に生まれかえらせる事、商店街の空き店舗の活用や活性化を実践している。資金は民間自身が調達する、市は後援に周り民間を支える仕組みが良く分かりました。大変参考になり泉大津市でも実践したく思います。

第2日目 10月7日(金) 12時10分 ~ 視察

(Eコース) コース「バイオマスで活力創出」真庭市視察

① 真庭バイオマス集積所視察

「バイオマス資源の安定供給」

真庭バイオマス集積基地、第2工場を視察(2014年10月稼働開始)

建設費:約5億3,800万円 敷地面積:24,912m² 目的:発電用燃料の収集・加工
従業員20名、実施主体:真庭木材事業協同組合

<施設の役割>

素材生産者や山主などの市民によって持ち込まれた未利用材や製材所で発生する端材や樹皮を利活用することを目的として、2008年度に真庭バイオマス集積基地を建設し製紙原料、燃料として加工している。

バイオマス発電の燃料安定供給のために2014年10月に第2工場を整備し、年間約6万トンの発電用燃料の加工を行なっている。

第1工場と第2工場を合わせて、年間約8万トンの原料が地域内外から集積されています。第2工場は、発電用燃料となる原料に加工するため質の良い乾いたチップが要求される少しでも高値で発電所に売却できるよう施設設備と原料の取扱いに細心注意を払っている。

② 真庭バイオマス発電施設視察

「真庭バイオマス発電所」

真庭バイオマス発電株式会社

従業員:15名 発電規模:10,000kW(一般家庭22,000世帯分) 総事業費:41億円

2013年2月真庭市と林業・木材産業事業者を含む真庭地域を中心とした9団体により設立

2014年4月真庭バイオマス発電所稼動開始

<エネルギーの特性>

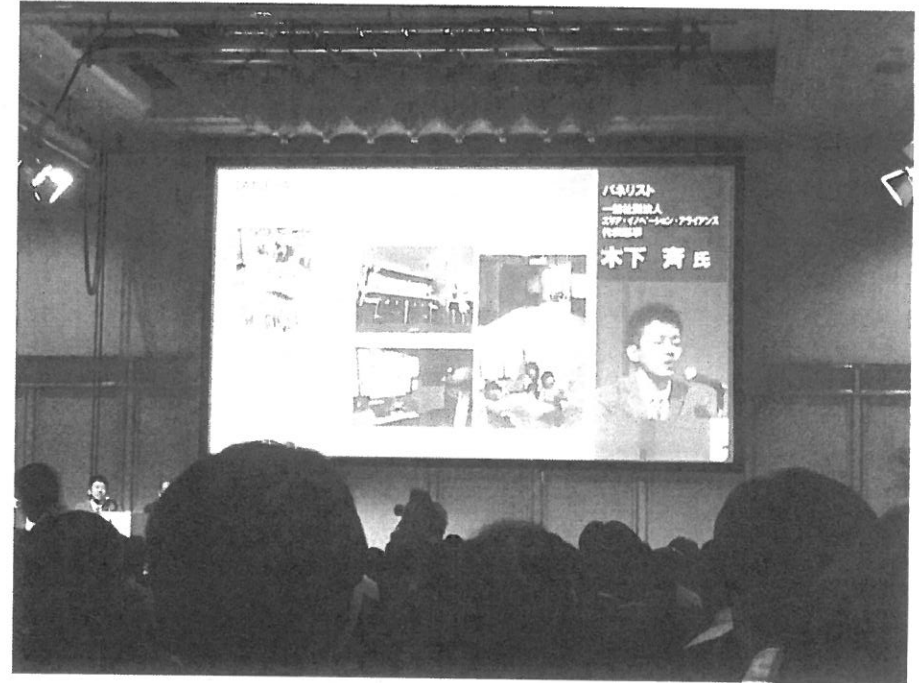
間伐材、未利用材木材の利用で木材産業の活性化「再生可能エネルギー固定価格買取制度(FIT制度)」により作った電力は電力会社に供給され、今まで価値が無かった未利用材に価値が生まれ、搬出した山主には確実に還元される真庭式木材流通管理システムも導入し、バイオマス事業の基盤である林業の活性化へ繋げることが出来ている。

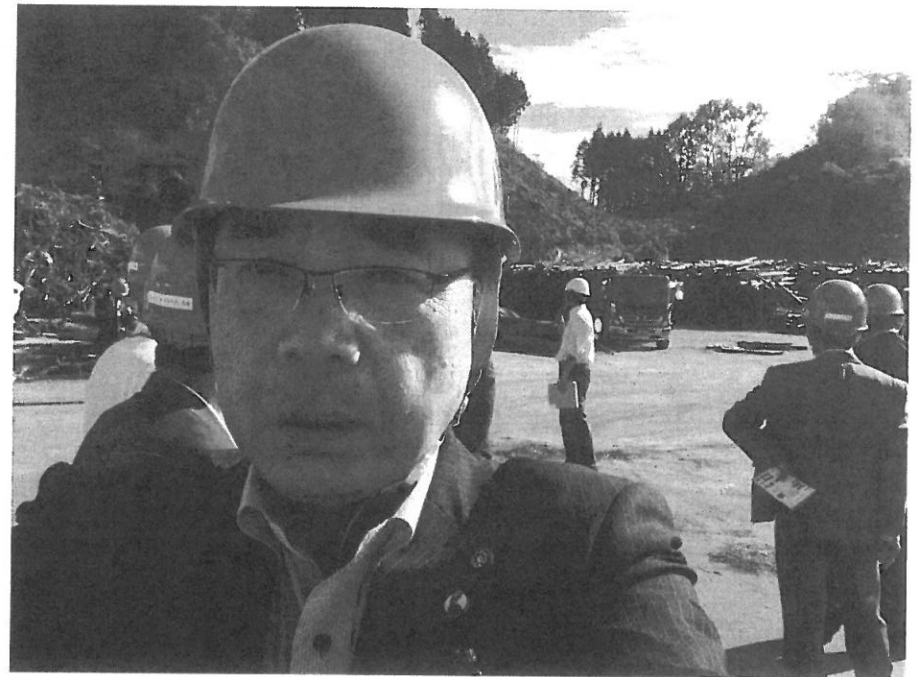
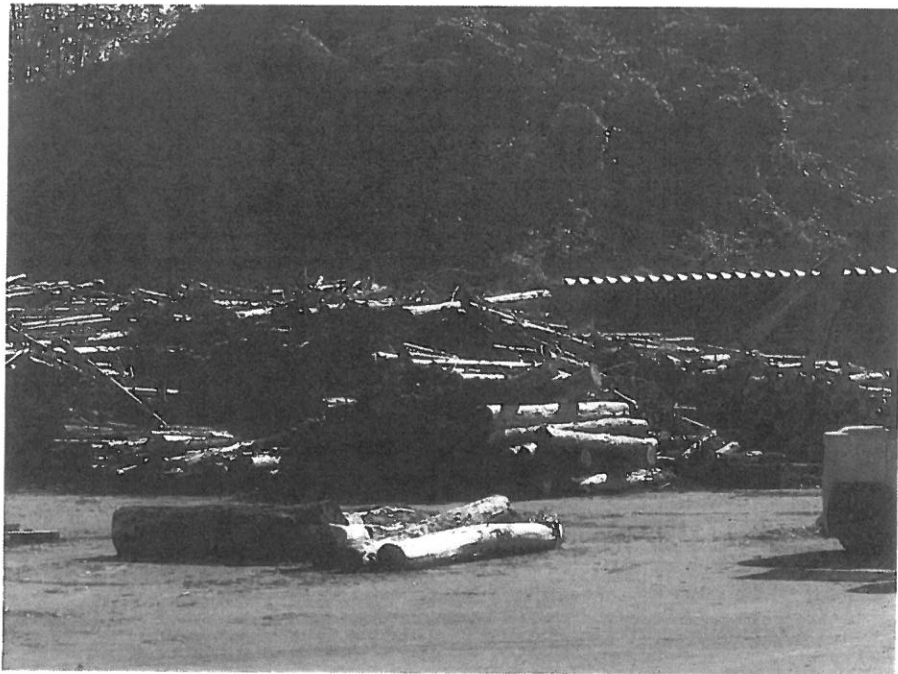
<地元施設に電気を供給>

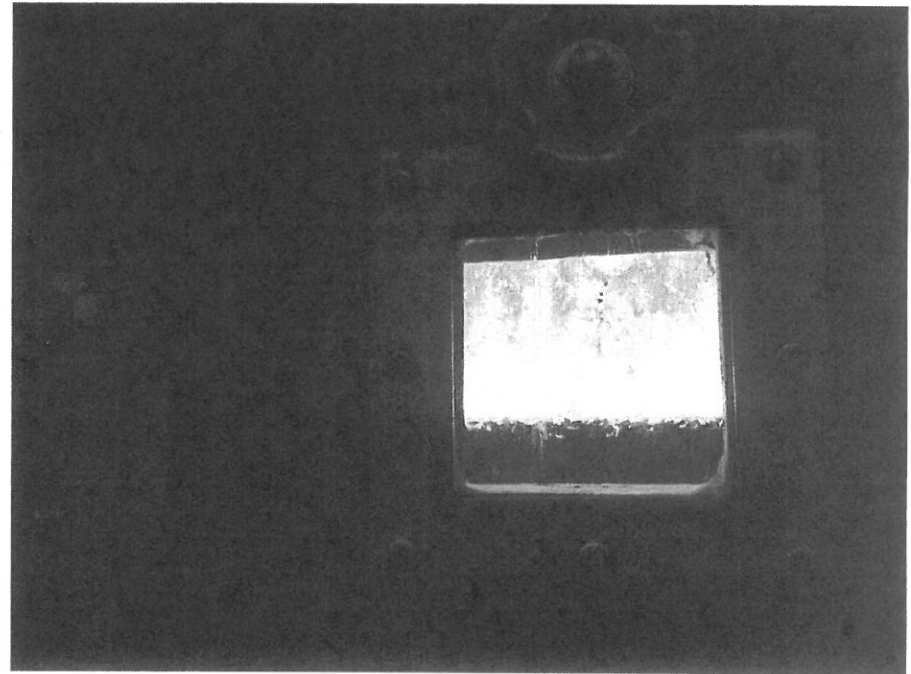
2016年4月から電気の一部を地元2施設へ供給している。(真庭市役所本庁舎に供給している) 小売電気事業者「真庭バイオエネルギー(株)」と契約し電気を販売し、地元エネルギーを地元で利用する地域内循環となっている。

(所見)

真庭バイオマス集積所視察と連携している真庭バイオマス発電所を視察させて頂きました。真庭市の地域活性化について地元の方々と協議・検討を行なって来たが、人口減少と雇用問題など解決の糸口が中々見つからず原点に戻り、地の利を生かした新しい事業を展開する事となった。地域を山林で囲まれた真庭市は木材加工業者が沢山ある一年間に間伐材、未利用材木材が沢山廃棄されて来た。それを再利用し地域の活性化に繋げる「バイオマス活力創出」を考え出した。地域産業の活性化と雇用創出を生み定住者を増やし人口減少にも大きな効果を上げている。泉大津市も今ある産業資源や地域資源を生かした新規産業の展開を再度検討すべきと感じました。人口減少と定住促進に繋がる新たな職場を作り上げることに大きな意義があると感じました。







支出命令書

決裁日 28年 9月 27日

市長 *****	副市長 *****	教育長 *****	部長 *****	次長 *****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 *****	係長 *****	担当者 	入力 	財政課合議 *****		

所属	市議会事務局	起票日	平成28年9月27日	整理番号	2275-12
----	--------	-----	------------	------	---------

年度	平成28年度	会計	一般会計	予算区分	現年度予算
----	--------	----	------	------	-------

款	1	議会費	確認事項	確認
項	1	議会費	タイムカード(出勤簿)	
目	1	議会費	源泉徴収	
細目	4	議会調査研究事業	被服貸与台帳記載	
節	19	負担金、補助及び交付金	通勤経路及び金額	
細節	45	政務活動費		

金額	¥40,800	検収者	
----	---------	-----	--

控除額		支払方法	通常支払
-----	--	------	------

債権者	登録No. 99999	支払区分	窓口払い 1.現金 2.小切手
	住所	金融機関	
	名称 市民クラブ代表者 丸谷 正八郎	支店	
	職氏名	預金種別	
		口座番号	
		伺残額	¥612,500

摘要	研究研修費	支払予定日	平成28年10月11日
	10/19~10/20 第11回全国市議会議長会研究	支払明細整理番号	001
	フォーラム参加負担金及び視察参加負担金	請求書番号	

上記の金額を領収しました。
平成28年10月11日

泉大津市会計管理者 様

住所

名称

氏名 市民クラブ代表者 丸谷 正八郎

収入印紙



支出負担行為確認



支払済

154108118 11:48 0014-001 6P0 7M9-2
2/5 194 40,800 円











2016000227501123

泉大津市



28.9.26


供	議長	副議長	局長	次長	次長補佐	議事調査係長	庶務係長	主査
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

平成28年 9 月 27 日

泉大津市長
伊藤晴彦様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 市民クラブ
代表者名 丸谷正八郎 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	40,800円 /		
内 訳	10/19~10/20 静岡市 第11回全国市議会議長会研究フォーラム参加負担金及び視察参加負担金		
支払先	(株) JTBサポート中部		
予算科目	研究研修費	交付残額	612,500円
使用者名	丸谷 正八郎		

開催概要

■日 時

第1日目:平成28年10月19日(水) 13時00分開会(開場・受付 12:00)

第2日目:平成28年10月20日(木) 9時00分開会(開場 8:30)

■場 所 グランシップ大ホール・海(静岡県コンベンションアーツセンター)

静岡県静岡市駿河区池田79-4

[意見交換会場:ホテルセンチュリー静岡 静岡市駿河区南町18-1]

※会場等へのアクセスについては、P.5「会場へのアクセス」をご参照ください。

■主 催 全国市議会議長会

■後 援 総務省(予定)

■実 施 第11回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

■プログラム内容

第1日目(10/19)

第1部 基調講演「二元代表制と議会の監視機能」大森 彌 東京大学名誉教授

第2部 パネルディスカッション「監視権の活用による議会改革」

コーディネーター 江藤 俊昭 山梨学院大学大学院研究科長・教授

パネリスト 斎藤 誠 東京大学大学院法学政治学研究科教授

土山 希美枝 龍谷大学政策学部政策学科教授

谷 隆徳 日本経済新聞編集委員兼論説委員

栗田 裕之 静岡市議会議長

第3部 意見交換会

第2日目(10/20)

第4部 課題討議「監視権を如何に行使すべきか」

コーディネーター 佐々木 信夫 中央大学経済学部教授

事例報告者 3市(予定)

第5部 視察

■定 員 2,500人 ※詳細は、P.8~9「参加申込みのご案内」をご参照ください。

■参加費 1人7,000円

G

静岡市・伊豆の国市・沼津市／伊豆半島観光振興、 スポーツ振興事業事例視察

[1泊2日]

コース ポイント

Jリーグ「清水エスパルス」のホームスタジアム、サッカーをはじめトップ選手の幅広い利用と市民の健康増進及びスポーツ振興を目的とする静岡市清水ナショナルトレーニングセンター。2020年東京五輪の競輪競技会場に内定した会場などスポーツ振興への取組と世界文化遺産に登録された韮山反射炉など伊豆半島における観光振興をご視察いただきます。

- 募集人員:40名 ■最少催行人員:30名 ■旅行代金(お一人様あたり):39,800円 ■添乗員同行します
- ご旅行代金に含まれるもの:貸切バス代(ガイド付き)、宿泊代(1泊2食和室2名1室利用)、食事代(朝食1回、昼食2回、夕食1回)、入場料、添乗員費用

	行程	食事
10/20 (木)	静岡県コンベンションアーツセンター====清水 昼食 ====IAIスタジアム日本平==== (グランシップ) 11:30 12:10 13:10 13:30(静岡市清水日本平運動公園) 14:15 静岡市清水ナショナルトレーニングセンター====伊豆(泊) 14:45 (J-STEP) 15:30 16:45頃 ご宿泊 桂川	朝:× 昼:○ 夕:○
10/21 (金)	桂川====2020年東京五輪会場(自転車競技) 視察 ====世界遺産 韮山反射炉 昼食・視察 ==== 09:30 10:00 伊豆ペドロローム 11:00 11:30 13:00 津波侵入を防ぐ日本最大規模の水門、大型展望水門びゅうお 視察 ===== 三島駅 13:45 14:30 15:00頃	朝:○ 昼:○ 夕:×

【IAIスタジアム日本平(静岡市清水日本平運動公園)】サッカー球技場と庭球場を有する都市公園です。サッカー球技場はJリーグ「清水エスパルス」のホームグラウンドになっています。

【静岡市清水ナショナルトレーニングセンター (J-STEP)】サッカーをはじめトップ選手の幅広い利用と市民の健康増進及びスポーツ振興を目的とする天然芝グラウンド、体育館、プール、宿泊施設等を擁する(公財)日本サッカー協会公認の複合スポーツ施設です。サッカー日本代表チームの他、国内外の各種競技団体が利用しています。

【伊豆ペドロローム】自転車のトラック競技に関する世界標準仕様の競技施設です。

【韮山反射炉】幕末期の代官江川英龍が手がけ、後を継いだその子英敏が完成させました日本で唯一現存する実用反射炉です。

【大型展望水門「びゅうお」】静岡県が津波対策として建設した日本最大級の水門です。地上30mの高さを活かした展望施設を有し、駿河湾、千本松原、そして雄大な富士山を360度のパノラマで見ることができます。

H

掛川市・袋井市・磐田市・浜松市・湖西市／ スマートアグリカルチャー事業と津波対策事業事例視察

[1泊2日]

コース ポイント

静岡県西部地域の主産業である農業の成長産業化、楽器製造業から「音楽のまち」への進化を中心に防災対策や景観形成などもあわせ、ご視察いただきます。

- 募集人員:40名 ■最少催行人員:30名 ■旅行代金(お一人様あたり):33,800円
- 添乗員同行します
- ご旅行代金に含まれるもの:貸切バス代(ガイド付き)、宿泊代(1泊2食洋室2名1室利用)、食事代(朝食1回、昼食2回、夕食1回)、入場料、添乗員費用

	行程	食事
10/20 (木)	静岡県コンベンションアーツセンター====静岡IC====掛川IC====ヤマハリゾートつま恋 昼食 (グランシップ) 11:30 12:30 13:30 ====静岡エコパスタジアム 視察 =====スマートアグリカルチャー磐田 視察 =====浜松(泊) 13:45 14:35 15:05 15:55 16:25 ご宿泊 ホテルクラウンパレス浜松	朝:× 昼:○ 夕:○
10/21 (金)	ホテルクラウンパレス浜松====湖西市小松楼まちづくり交流館 視察 ==浜松市沿岸域防潮堤 視察 09:00 09:40 10:40 11:20 12:00 ====オークラクトシティホテル====浜松市楽器博物館====浜松駅 12:30 13:30 13:40 14:20 14:30頃	朝:○ 昼:○ 夕:×

【ヤマハリゾートつま恋】スポーツを主として音楽活動などの積極的な合宿誘致活動を行う宿泊設備、運動設備、音楽設備、温泉など豊富な設備を持つ複合施設です。

【静岡エコパスタジアム】小笠山の豊かな自然につつまれた、緑あふれる「エコパスタジアム」は、5万人収容の充実した設備を誇る静岡県下最大の多目的競技場です。2002FIFAワールドカップ、2003NEW!!わかふじ国体、2006ねりんピック静岡開会式などを開催しております。

【スマートアグリカルチャー磐田】ICTにより環境制御された大型ハウスで市場ニーズに適合した農作物を種苗の研究開発から生産・加工・販売まで一貫して行う農業事業です。

【小松楼まちづくり交流館】「歴史の薫る関所のまち新居」にふさわしい町並みの創造と活力ある町の形成、豊かで活力のある生活を実現することを目的として進められる湖西市新居地区の景観計画の事例をご視察いただきます。

【浜松市沿岸域防潮堤】東日本大震災による被害を教訓に、甚大な津波被害が想定される南海トラフ巨大地震に備え静岡県・浜松市が役割分担して整備している津波対策の防潮堤です。浜名湖から天竜川河口までの約17.5kmにかけて防潮堤整備事業を進めています。

【浜松市楽器博物館】浜松市楽器博物館は日本で唯一の公立楽器博物館です。「世界の楽器と音楽を平等に扱う」という世界に誇るコンセプトと、それに基づく展示や多様な活動は国内外から高く評価されています。

丸谷 正八郎 様

受付番号 1238-4

請求書NO. 16006-02329

株式会社JTBサポート中部
営業開発部 中部MICEセンター
営業開発部長 中谷 武史



〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-17-18
キリックス丸の内ビル7階

【TEL】052-218-2007【FAX】050-3737-8507

担当: [REDACTED]

ご請求書

この度は弊社をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。
下記のとおりご請求申し上げます。

ご請求金額	¥33,800※
-------	----------

【内訳】	項目	単価	人数	金額	摘要
	旅行代金(視察)	¥33,800	1	¥33,800	
請求金額合計					¥33,800

【備考】

振込口座のご案内

【店名】	[REDACTED]
【種別】	[REDACTED]
【口座番号】	[REDACTED]
【口座名義】	[REDACTED]
★お振込みの際は、お名前の前に必ず 1238-4 をご入力くださいませ。	

お振込み期限: 10月13日(木) まで

※振込手数料はお申込者様負担となります。あらかじめご了承くださいませ。

丸谷 正八郎 様

受付番号 1238-12

請求書NO. 16006-00999

株式会社J TBサポート中部
営業開発部 中部MICEセンター
営業開発部長 中谷 武史



〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-17-19
キリックス丸の内ビル7階

【TEL】052-218-2007【FAX】050-3737-8303/

担当: [Redacted]

ご請求書

この度は弊社をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。
下記のとおりご請求申し上げます。

ご請求金額	¥7,000※
-------	---------

【内訳】

項目	単価	人数	金額	摘要
フォーラム参加費	¥7,000	1	¥7,000	
請求金額合計			¥7,000	

【備考】

振込口座のご案内

【店名】 [Redacted]

【種別】 [Redacted]

【口座番号】 [Redacted]

【口座名義】 [Redacted]

★お振込みの際は、お名前の前に必ず 1238-12 をご入力くださいませ。

お振込み期限: 10月13日(木) まで

※振込手数料はお申込者様負担となります。あらかじめご了承くださいませ。

泉大津市議会
丸谷 正八郎 様

参加費領収証

金 7,000 円

第11回全国市議会議長会研究フォーラムin静岡の参加費として
上記のとおり領収いたしました

平成28年10月19日・20日

第11回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員

委員長 岡下 勝彦

東京都千代田区平河町2-4-

1238-06 1734

領収証 RECEIPT



株式会社ジェイティービーサポート中部

泉大津市議会議員
丸谷 正八郎 様

No. R16-1926

営業開発部 中部MICEセンター 印

名古屋市中区丸の内1-17-19

キリックス丸の内ビル7階 〒460-0002

TEL:052(218)2007 FAX:050(3737)8303

発行日 2016/11/18

下記の金額正に領収いたしました。

¥33,800 ※









但し 第11回全国市議会議長会研究フォーラムin静岡
視察参加負担金

出納責任者	取扱者

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

支出命令書

決裁日 28年9月27日

市長 ****	副市長 ****	教育長 ****	部長 ****	次長 ****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 ****	係長 ****	担当者 	入力 	財政課合議 ****		

所属	市議会事務局		起票日	平成28年9月27日	整理番号	2275-13
年度	平成28年度	会計	一般会計		予算区分	現年度予算
款	1	議会費			確認事項	確認
項	1	議会費			タイムカード(出勤簿)	
目	1	議会費			源泉徴収	
細目	4	議会調査研究事業			被服貸与台帳記載	
節	19	負担金、補助及び交付金			通勤経路及び金額	
細節	45	政務活動費				
金額	¥46,760.			検収者 印		
控除額				支払方法	通常支払	
債権者	登録No.	99999		支払区分	窓口払い 1.現金 2.小切手	
	住所			金融機関		
	名称	市民クラブ代表者 丸谷 正八郎		支店		
	職氏名			預金種別		
				口座番号		
				伺残額	¥565,740	
摘要	旅費			支払予定日	平成28年10月18日	
	10/19~10/21 第11回全国市議会議長会研究			支払明細整理番号	001	
	フォーラム 参加旅費			請求書番号		

上記の金額を領収しました。
平成28年10月18日
年 月 日

泉大津市会計管理者 様

住所

名称

氏名 市民クラブ代表者 丸谷 正八郎

収入印紙



支出負担行為確認











支払済



2016000227501132




供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

平成28年 9月 7日

泉大津市長
伊藤 晴彦 様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 市民クラブ
代表者名 丸谷 正八郎 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	46,760円		
内 訳	10/19~10/21 静岡市 第11回全国市議会議長会研究フォーラム 参加旅費		
支払先	丸谷 正八郎		
予算科目	旅費	交付残額	565,740円
使用者名	丸谷 正八郎		

平成28年度

出張申請書

(出張)


会派名	市民クラブ		氏名	丸谷 正八郎				
出発・帰庁年月日	出発 28年10月19日		帰庁 28年10月21日					
出張先(順路)	グランシップ大ホール(静岡県静岡市駿河区池田79-4)							
目的及び用件	第11回全国市議会議長会研究フォーラムin静岡に参加							
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線)	km			円		円	円	円
難波		440	円					440
" (地下鉄御堂筋線)								
新大阪		280						280
" (東海道新幹線)	376.2		特急料金 (ひかり)					
静岡		378.7	6,260	4,620				10,880
" (東海道本線)	2.5				1泊	3日		
東静岡					15,000	10,500		25,500
" 浜松	1泊分は別途負担金として支払う。また、研修会場から浜松駅までは、主催者側が用意したバスを利用する。							
" (東海道新幹線)	299.3		特急料金 (こだま)					
新大阪		5,080	3,860					8,940
" (地下鉄御堂筋線)								
難波		280						280
" (南海本線)								
泉大津		440						440
							計	46,760

主管課用









平成28年度

領収書兼旅費明細書

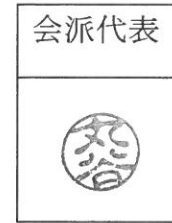
(出張)

会派名	市民クラブ	氏名	丸谷 正八郎					
出発・帰庁年月日	出発	28年10月19日	帰庁	28年10月21日				
出張先(順路)	グランシップ大ホール(静岡県静岡市駿河区池田79-4)							
目的及び用件	第11回全国市議会議長会研究フォーラムin静岡に参加							
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 440	円	円	円	円	円	円 440
" (地下鉄御堂筋線) 新大阪		280						280
" (東海道新幹線) 静岡	376.2 └─378.7	6,260	特急料金 (ひかり) 4,620					10,880
" (東海道本線) 東静岡	2.5				1泊 15,000	3日 10,500		25,500
" 浜松	1泊分は別途負担金として支払う。また、研修会場から浜松駅までは、主催者側が用意したバスを利用する。							
" (東海道新幹線) 新大阪	299.3	5,080	特急料金 (こだま) 3,860					8,940
" (地下鉄御堂筋線) 難波		280						280
" (南海本線) 泉大津		440						440
							計	46,760
右の金額領収いたしました。				金額	¥ 46,760			
平成 年 月 日				職名	市民クラブ			
泉大津市会計管理者 殿				氏名	丸谷 正八郎			
								

□決 裁 ■供 覧

受発記号・番号				收受年月日	平成28年10月24日			
差出 名		市民クラブ 丸谷 正八郎						
あて 名		泉大津市議会議長			提出期限			
收受文書の記号				收受文書の日付	平成28年10月24日			
件 名		報告書						
議長		副議長	事務局長	次長	合 議			
								
主 管	次長補佐	議事調査係長	庶務係長	主査				
								
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項								
<p>日 時：平成28年10月19日（水）～10月21日（金）</p> <p>出張先：グランシップ大ホール・海（静岡県静岡市）</p> <p>目 的：第11回全国市議会議長会研究フォーラムに参加</p>								

報 告 書



平成 28 年 10 月 24 日

泉大津市議会議長 殿

(会派名) 市 民 クラブ

出張者氏名 丸谷 正八郎 

下記により出張致しましたので、その概要について報告いたします。

記

- 1、日 時 平成 28 年 10 月 19 日(水) ～ 21 日(金)
- 2、出 張 先 静岡県 静岡市
- 3、目 的 第 11 回「全国市議会議長会研究フォーラム」

<会 場> グランシップ大ホール・海
(静岡県コンベンションアーツセンター)

(主 催) 全国市議会議長会、 (後 援) 総務省

(実 施) 第 11 回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

4、報告事項

(第1日目) 10月19日(水)13時～

<基調講演>

「二元代表制と議会の監視機能」

東京大学名誉教授 大森 氏

<要 約>

①二元代表制に内在する対立の契機

首長は、独任制であり多くの一般職員を部下として使えるから、政策展開での主導性を発揮しやすい。複数からなる合議制の議会は政策・行政上の争点を形成し多様な民意の所在を明らかにしやすい。自治体運営において、この二つの機関は車の両輪と言われる。

この二つの機関は、競い牽制し合いつつも協力し合って住民にとって最良な意思決定を行っていくことが基本任務である。

②首長優位の制度

首長が議会に優位しているのは、予算編成権と議案提出権を有すこと、職員を部下として使うことが出来るなど執行権優位の制度となっている。

議会は議決機関とされ、予算案・決算案をはじめ首長提案の議案を審議し、議会として意思を決める。議会の議決なしには予算を伴う事務事業の執行はできないから、この点で議会にも大きな権限が与えられている。

議会が首長提案の「追認機関化」してしまえば議会のチェック機能が働いていないこととなる。議会側がその内容を厳しく吟味しなければ、首長の「お手盛り機関化」する。

③「チーム議会」の実現

議会の存在理由を示すには「チーム議会」の実現が必要である。

議員が会派の相違を超えて、あたかも一人の議会人のように意思決定できる主体になることである。政策討論会議という場を設定し議員間で調査・検討・議論を重ねた上で、全会派の代表者が政策提言をまとめれば、これを首長は簡単に無視できない。

議員間の討論とその集約こそが議会たるものの本質である。

④与野党意識の克服

首長と馴れ合わず、緊張関係を維持するためには議会全体が野党的な感覚をもちつつ是々非々で自治体としての意思決定を適切なものにしなければならない。

(所 見)

首長・議員はともに直接選挙で選出されている。市長が公約に挙げた政策を実行に移す

ときに、議会がどのように対処すべきかが問われている。

予算額（事業内容）のチェック、決算額（費用対効果）について等、議員としての仕事は出来ているが議会全体の働きが見えて来ない、会派の枠を超えての政策討論会や調査・研究を一緒になって行うなどして議会としての「政策提言」を出して行くことが必要である。市民に分かりやすい議会となるには二元代表制の役割を果すことであると感じました。

<パネルディスカッション>

「監視権の活用による議会改革」

「コーディネーター」

山梨学院大学大学院研究科長 江藤 俊昭 氏

「パネリスト」

東京大学大学院法学政治学研究科長 斉藤 誠 氏

龍谷大学政策学部政策学科教授 土山 希美枝 氏

日本経済新聞編集委員兼論説委員 谷 隆徳 氏

静岡市議会議長 栗田 裕之 氏

<要 約>

①法的視点からみた「監視権の活用」 斉藤 誠 氏

議会の監視機能の充実・強化するためには、議決事件の対象について条例で定めることができる範囲を現行よりも合理的に範囲内で拡大すべきである。

基本的には、地域における政策決定とそこにおける経済的活動に関する事柄は地方議会によって個別にチェックされるべきものである。

基本的な計画(総合計画・基本構想等)の議決について、そのような計画策定権限は長に専属していない。むしろ議会・長の「協働」作用である。

長に提案権を専属させる条文にするなら、議会の審議による原案の修正にはそれに対応した限界が生ずる。

②<政策・制度>の議会による<制御>としての監視・監査 土山 希美枝 氏

二元代表制と機関競争主義→自治体<政策・制度>に対する<市民制御>を実現するシステムとしての議会。

議会の5課題(政治争点の集約・公開)(政治情報の整理・公開)(政治家の選別・訓練)(長・行政機構の監視)(政策の提起・決定・評価)

議会の監視機能の重要性について、自治体の現場の状況、制度についての知識、データ

や専門的知見などを踏まえた「問題特定」が必要である。

議会の監視・監査機能はどこで果されるか、非日常としての100条委員会・一般質問・質疑などでの議員の争点提起。議員の政策上の気付きを委員会の調査・議会の調査に、どうつなげていくか。

③メディアからみた議会の監視権 谷 隆徳 氏

- ・議会基本条例の登場から10年、情報公開は進展した。
(本会議・委員会のネット中継、議事録の公開、審議のIT化など)
- ・住民参加は模索中
(議会報告会の開催、陳情・請願の取扱い)
- ・議会の監視機能は向上したか。
(外見的には大きく変わらず予算や条例案の「素通り」議会がまだ多数ある)
(大切なのは議論の「見える化」である)
- ・決算重視の議会活動を。
(決算審議が不十分、議会の全体の9割が何ら意見を付けずに決算を認定している)
(重要性高まる議会による「事務事業評価」実施しているのは全体の4%弱である)
- ・議会の監視権の枠外にある「専決処分」について
(通年会期にして専決処分封じを行なう)
- ・議会の監視機能と住民
(事務事業評価は住民に「議会」をPRする好機である)

④監視権の活用による議会改革～静岡市議会の取組～ 栗田 裕之 氏

調査権や検査権、監査請求などは、議会の監視機能を担保するために制度化されたものであり、日常の議会活動で監視機能を発揮することが重要である。

議決行為や一般質問は、議員個人あるいは党派として取り組む、静岡市議会という組織体としては、議員発議条例（議員発議条例の策定）や特別委員会からの提言に注力する。議員発議条例等により議会の存在感を示すことが「議会の監視権」が目指す「長に対する抑制効果」にもつながる。

条例や提言の製作過程そのものが「議会改革」の実践の場となっている。

(所 見)

議会改革は、この10年間で進められてきたが、二元代表制の議会組織としては首長と比べ弱体である。議会がチームとなって取り組むことが大切であるが、政党・政治理念・個々の取組み等、様々であるため組織的な動きが今まで出来なかった。

市民の声を身近で聞いているのは議員である、これらに対して議員は「一般質問」「議案質疑」を行なう、現状必要不可欠であるような事柄であれば議員全体で政策討論や検討会を開催し「議員発議条例」の策定に繋げることも今後検討すべきと感じました。

予算・決算については、事務事業評価を分析できる機関が無い⁽¹⁾ここなど課題が残っている。課題解決に向けた取組みとしては、専門職の採用が不可欠であると感じました。

(第2日目) 10月20日(木) 9時～

<課題討議> 「監視権を如何に行使すべきか」

「コーディネーター」

中央大学経済学部教授 佐々木 信夫 氏

「事例報告者」

藤沢市議会前副議長 佐賀 和樹 氏
和歌山市議会議会運営委員会委員長 井上 直樹 氏
日田市議会議長 嶋崎 健二 氏

<要約>

①議会はどうあるべきか ～100条委員会を通じて～ 佐賀 和樹 氏

「100条委員会」設置の発端となったのは前市長による土地の先行取得問題であった。疑惑発覚後の議会の追及、本委員会設置以前の審査、当時の新聞・テレビ報道を受けて100条委員会設置議案が僅差で再三否決された、平成23年4月の市議会改選で議員構成が変わり100条委員会設置の決議案が全会一致で可決された。

委員会では、証人・参考人・出席要請・証人喚問の実施、現地調査を行い「調査報告書及び記録書類」を作成した。委員会の進捗に応じて議員間討議がスタートし、事前の打合せも20回以上に及んだ。100条委員会から更なる議会改革へと進呈していきました。そして、議会基本条例制定に繋がった。

オール与党体制の議会運営や党利党略による政争ではなく市議会の総意として、ひとつの目的に向かっていくことが出来たことは100条委員会のもうひとつの大きな成果であった。市長の監視機関としての議会のあり方を認識させられました。

②付属機関への参画と監視機能 井上 直樹 氏

和歌山市議会では、合計26の付属機関に参画している。

執行部の考え(議会に対して事前に一定の理解が得られる)

議会の考え(いち早く行政の方向性が把握できる)

参画についての検証(全ての付属機関への参画の見直し)

法等で市会議員と規定されているもの(参画する必要あり)

条例等に基づき参画しているもの(協議会を立ち上げ検討する)

議員が付属機関に参画することで、議会の議決に影響が出ないかが議論となった。

独自性を発揮し、更なる監視機能を高めるため「ただいま検証中」であります。

③地方創生に関する政策提言 ～日田市議会の取組み～ 嶋崎 健二 氏

日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会に議会より3名選出しました。

(市民の理解と支援、二元代表制としての市議会の役割を果す目的)

議会の対応は、常任委員会ごとに総合戦略の4つの基本目標について、現状と課題、方

向性を集約し、取組み内容と方策を分かりやすくビジョンとして示した。

議会報告・意見交換会の開催、班別会議の開催、常任委員会別による提言案の協議を実施した。市内 20 地区で議会報告・意見交換会を開催。

議会運営委員会及び全員協議会での確認・周知、地方創生に関する提言の実施、平成 28 年 2 月「日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が完成いたしました。

(所見)

市議会議長、議会運営委員長、市議会前副議長の 3 名のお話をお聞きいたしました。

100 条委員会設置が議会改革の起点となって、議会が一つとなった取組みが全議員を動かした結果、議会が変わり始めた。また「付属機関への参画」が二元代表制の議会としての発言の場と考え政策立案から参画する必要性も伺えました。

地方創生「まち・ひと・しごと創生総合戦略」審議会に議会として参画し、議会からの提言を具体的施策の中に組み入れた。施策に議会政策提言が組み入れられた事は評価いたします。荷にかのきっかけで議会が動き出す、市民に求められている責務は従来からの行政のチェック機関だけでなく、提案型の議会であると感じました。

「政策提言・条例制定・情報発信・意見交換・調査能力」など挑戦できる事柄が沢山あります。議会が一つにまとまり出来ることから進めて行きたいと思えます。

政務活動費の有効活用として議会に法制局を設置してはどうか、議会報告会の参加者は減少傾向にあることから「議員・市民・学生」の意見交換会を実施してはどうか、議長に議会招集権を与えること（通年議会が進んでいる）、議員選出監査委員のあり方について検討する。議会活動のチェックは誰がするのか等、今後の課題はいくらでもある。

(第 2 日目) 10 月 20 日(木) 11 時 30 分 ～ 視 察

H コース、掛川市・袋井市・磐田市・浜松市・湖西市/ スマートアグリカルチャー事業と津波対策事業事例視察

①ヤマハリゾート「つま恋」で昼食

スポーツを主として音楽活動(コンサート)などの積極的な合宿誘致活動を行なう宿泊施設、運動施設、音楽施設、温泉など豊富な設備を持つ複合施設であるが、運営経営を任されていた「ヤマハリゾート」が平成 28 年 12 月末をもって事業から撤退することで閉館となります。

②静岡エコパスタジアムの視察

小笠山の豊かな自然につつまれた、緑あふれる「エコパスタジアム」は 5 万人収容の充実した設備を誇る静岡県下最大の多目的競技場です。

2002 年 FIFA ワールドカップ開催、2003 年 NEW わかふじ国体、2006 年ねんりんピック静岡開会式などを開催している。

次期ラグビーワールドカップの開催やサッカー J1 リーグ戦の利用があり施設の整備

や管理が充実しているが、5万人収容の施設を満席にするには大変な努力が必要であり今後も難しい問題である。

③スマートアグリカルチャー磐田の視察

ICTによる環境制御された大型ハウスで市場ニーズに適合した農作物を種苗の研究開発から生産・加工・販売まで一貫して行なう農業事業です。

新規農業（ICT活用）で地域活性化と雇用確保が実現できている。農業政策の新規モデルとなっています。

（所見）

ヤマハリゾート「つま恋」

昼食会場でした。施設敷地が広大で「スポーツ・音楽」などの複合施設となっていました。当日も学生がスポーツ合宿に来ていました。施設は、維持管理・清掃など行き届いていました。永年に渡り多くの方々に愛され利用されたことがよく分かりました。今年12月末で閉館となることは、大変残念に思いました。少子高齢化や人口減少問題が影響しているのかと実感いたしました。

複合施設の建設については、将来を見通した展開が出来るよう検討したいと思います。

静岡エコパスタジアム

「エコパスタジアム」は5万人収容の大きな施設です。自然豊かな山間部に建設された施設であります。施設内を案内して頂き「グラウンド・観覧席・貴賓席・コッカルーム」などを見学いたしました。泉大津市は面積が狭くて、このような施設とは無縁のように思いますが「スポーツが地域の財産である」と説明して頂いた時に、何か他市に比べて自慢できるような事業を実現したく思いました。

スマートアグリカルチャー磐田

先ず初めに、関係職員の「やる気」を感じました。事業に「自信」を持っています。農業改革の一つである「ICT」活用による生産管理で品質の良い栄養バランスの摂れた高級品の収穫に成功しています。（試食したアローマメロンは美味しかったです）

「共創によるイノベーションビジネス(新実業)を通じた地域への貢献」を掲げて地方で事業を展開しています。新規事業として「パプキカ・トマト」を生産するハウスを増築中でありました。「富士通・オリックス」の出資金と国庫補助金を活用した事業です。農業の未来を見ました。今後の展開に期待いたします。

（第3日目）10月21日(金) 9時00分～視察

④小松楼まちづくり交流館の視察

「歴史の薫る関所のまち新居」にふさわしい町並みの創造と活力ある町の形成、豊かで活力のある生活を実現することを目的として進められる湖西市新居地区の景観計画の事例を視察いたしました。「新居の関所」は当時のまま保存され見学できるよう

になっていて歴史を感じました。小松楼も同様に建物が保存され見学させて頂きました。東海道の街道筋を復元するように町並みが整備されていて景観が良かったです。

⑤浜松市沿岸防潮堤の視察

東日本大震災による被害を教訓に、甚大な津波被害が想定される南海トラフ巨大地震に備え静岡県・浜松市が役割分担して整備している津波対策の防潮堤です。

浜名湖から天竜川河口までの約 17.5km にかけて防潮堤整備事業を進めています。

この事業には地元企業の「一条工務店」が 300 億円を寄付しています。

企業が地元還元する姿勢が、静岡県・浜松市の動きを加速させたとお聞きしました。

この防潮堤工事は、新しい施工技術を活用しています。

「CSG(良質な土砂にセメントを加え固めたもの)」を防潮堤の中央に幅約 20m 設置し両面盛土約 50~60m 設置しています。

波力に対して工学的な解析が可能で覆土により海岸防災林の再生が可能となる先進事例「浜松モデル」として全国に発信しています。

汎用建設機械での施工が可能で地元企業の積極的活用が出来ていました。

⑥浜松市楽器博物館の視察

日本で唯一の公立楽器博物館です。「世界の楽器と音楽を平等に扱う」という世界に誇るコンセプトと、それに基づく展示や多様な活動は国内外から高く評価されています。浜松市は楽器製造産業では世界の中心のひとつで音楽愛好家も大変多く、今も音楽の都を目指して官民一体となって活動している。

楽器は、その素材や形、音の出し方や音色、そこから生み出される音楽を通して、それぞれの地域と時代に生きた人々の智恵と感性を鮮明に映し出してくれます。

世界中の楽器を拝見しビデオも見せて頂きました。体験コーナーもあり楽しませて頂きました。

(所見)

小松楼まちづくり交流館

関所のまち新居地区は東海道の要として古くから栄えた町でありましたが、今は人口も減少し通過点となっています。歴史的建築物が存在する町並み景観を復元させて観光の町へと変貌途中でありました。街並み景観は浜街道に似たイメージであり町に住む人々の協力なくして実現は出来ないことを実感いたしました。

浜松市沿岸防潮堤

津波対策としての大きな事業です。遠州灘に面した静岡県は、南海トラフ地震が発生したら甚大な津波被害が想定されています。地元企業「一条工務店」から 300 億円の寄付を頂いたのには驚かされましたが、人道的な英断であり感動いたしました。

工事も順調に進行していて地域の方々が安心して生活が出来ると思います。

「CSG」の新技术が今後評価されることを願っております。

泉大津市も大阪湾に面していることから、津波被害が予測されています。

莫大な資金を投じての防災対策が出来ないことから、減災対策にもっと積極的に取り組んで行くことが重要であると感じました。

浜松市楽器博物館の視察

楽器博物館は、子どもから大人までが楽しく過ごせる生涯学習の場として活動し、国内外から高い評価を頂いている。20年にわたる「生きている博物館」活動に対して、平成26年度には世界的権威のある小泉文夫音楽賞を受賞し、多くの国際会議で活動発表の場を与えられるなど、今や世界第一級の楽器博物館のひとつに数えられています。

館内も広くて、余裕のある展示が拝観者を和ませています。

展示されているそれぞれの楽器の音色がヘッドホーンを通じて聴くことができます。

また、生演奏会も定時に開催されていて地元馴染んだ雰囲気がとても良かったです。

「音楽・楽器」の町のイメージが良く伝わって来ました。

